

第2回広島市サッカースタジアム整備等事業者選定審議会 会議要旨

- 1 開催日時 令和3年(2021年)3月30日(火) 10時00分～17時30分
- 2 開催場所 広島市役所本庁舎 2階 講堂
- 3 出席者
 - (1) 出席委員(7名)
古谷 誠章、渡邊 一成、小野田 泰明、竹内 徹、金田一 清香、
舟引 敏明、佐藤 仁司
 - (2) 欠席委員
なし
- 4 議事
サッカースタジアム等整備事業に係る事業者の選定について
 - (1)参加資格保有者によるプレゼンテーション
 - (2)参加資格保有者への質疑応答
 - (3)改善された技術提案書及び改善された提案時参考見積書の審議
- 5 公開・非公開の別 プレゼンテーションのみ公開、その他非公開
- 6 会議資料
 - 資料1 諮問書
 - 資料2 採点シート
 - 資料3 A共同企業体 改善された技術提案書、改善された提案時参考見積書、改善された技術提案書参考資料(追加資料を含む。)、技術提案書等に関する確認事項(補足資料を含む。)
 - 資料4 B共同企業体 改善された技術提案書、改善された提案時参考見積書、改善された技術提案書参考資料(追加資料を含む。)、技術提案書等に関する確認事項(補足資料を含む。)
 - 資料5 C共同企業体 改善された技術提案書、改善された提案時参考見積書、改善された技術提案書参考資料(追加資料を含む。)、技術提案書等に関する確認事項(補足資料を含む。)
 - 資料6 D共同企業体 改善された技術提案書、改善された提案時参考見積書、改善された技術提案書参考資料(追加資料を含む。)、技術提案書等に関する確認事項(補足資料を含む。)

参考資料1 サッカースタジアム等整備事業 募集要項
参考資料2 サッカースタジアム等整備事業 要求水準書
参考資料3 サッカースタジアム等整備事業 審査基準書

7 会議の要旨

【議事(1) 参加資格保有者によるプレゼンテーション】

(事務局挨拶・説明)

(B共同企業体プレゼンテーション)

古谷会長

この提案の非常にユニークな点は、南北に正対する軸が、同時にそれが原爆ドームに正対する軸、広島城からの軸の交点に当たるような、この配置を取ったところが特徴的な案とお見受けします。南北に正対するという事はサッカーの競技場として大きな利点

がありますし、都市軸に対しても貢献するものがあると感じます。

わくわく広場を通して、日常的に広場とつながりとする提案ですが、そのことがひいては次世代の子供たちなどに、日常的にサッカースタジアムに触れる機会を提供してくれるものとなるだろうなという期待を感じます。

明るい、新構造を伴った膜屋根による空間も大変魅力的なものと考えます。コンコースの安全性に関し、AIなどの活用と合わせ新技術に対する挑戦というところに特徴があるものと考えます。

(C 共同企業体プレゼンテーション)

古谷会長

一番は4つのコーナーを開くところが大きな特徴と考えます。外から見ればスタジアムの内部を伺い知る重要な窓になりますし、中から見れば四方が抜けている事によって、広島の地にこのスタジアムがあって、そして今ここでゲームが行われているという、そういう広がりを感じ取れるような、そういう提案とお見受けします。

更にそれが、今後の周辺のまちづくりなどにも広げていこうという、一つの方針を示している事に特徴があると考えます。

スタジアムにも、公園にも、その両者をつなぐアクセスゾーンの中にあるいくつかの仕掛け、スパイラル広場、緑のだんだんテラス、サンフレタウンなど、こういった両方をつなぐところにある、非常に密度の高い提案を頂いていると感じます。

長年の遊環構造の研究が反映されたものとして、それが一体化している提案であると感じます。

(A 共同企業体プレゼンテーション)

古谷会長

日常的なにぎわいの場をとにかく作り出すところに大きな目標を持ち、大地に繋がる、大地から連続感のあるスタンドを築き、そこに明るい膜屋根を掛けるという、非常に対比的なデザイン、これが効果的だと感じます。

膜屋根と下の大地からの連続感のあるスタンドとの間に、随所に内外の境界を外す、日常的にも広場とスタジアムを連続させようという、空間の試みがなされていることが一つの大きな特徴となっています。

また一方スタジアムの中に入ると、臨場感といったものに非常に大きな重点を置かれて、様々なシート、近しく感じられるようなシートの構成、それからロウアースタンドの割合を大きくするというところに特徴があるかと思えます。

屋根を支えるキールトラスを様々な設備的な利用の他、見学通路としても活かそうという、これもユニークなことだと感じます。

(D 共同企業体プレゼンテーション)

古谷会長

一番特徴的と思われるものは、どうしても大きなボリュームになりがちなスタジアムのスケール感を、ヒューマンスケール化しようという、ブレイクダウンしようとする提案で、これを「縁側」というコンセプトで、公園側に展開する Park-PFI 事業の施設群とスタジアム東側立面を、一つながりのもの、同じようなスケール感でつながりとする、特徴的でもあり、意欲的な挑戦でもあるとお見受けしています。

ひろえんのコンセプトが、単にこの対象敷地内に留まらず、ひろえんストリートや今後近傍の都市空間、まちづくりにも展開していけるのではないかという、指針を示されていると感じます。Park-PFI 事業には、デザインコードを策定し、完成像を誘導する方針も立てています。

合わせて非常に特徴的なのが、随所に県産材による木質化・木造化を提案されてお

り、かなりの圧倒的なボリューム感のある木の空間を実現できるという印象を持っています。

それらと合わせて、次世代に対するアピールが可能な提案ではないかと期待しています。

【議事（２） 参加資格保有者への質疑応答】

（Ｂ共同企業体への質疑応答）

（Ｃ共同企業体への質疑応答）

（Ａ共同企業体への質疑応答）

（Ｄ共同企業体への質疑応答）

【議事（３） 改善された技術提案書及び改善された提案時参考見積書の審議】

（審議会委員審議）

古谷会長

以上の審議内容を踏まえて、答申案を作成して頂けますか。

事務局

承知しました。

明日は第三回選定審議会及び答申を予定しています。

審査講評については改めて取り纏め、後日発行します。

本日はありがとうございました。

（閉会）